

北海道師範塾 「教師の道」 塾頭通信

第696号 平成26年2月28日

私はもう大丈夫

2人暮らしだった父（岡田幹男さん、当時53歳）と娘（夏音さん、10歳）が車で帰宅途中に暴風雪に見舞われて遭難し、翌朝、農業用倉庫の前で幹男さんが夏音さんに覆い被さる様にして亡くなっているのが発見されたのは、昨年3月2日の事で、この悲劇は皆さんも良く記憶している事と思います。

速いもので、あれから間もなく1年が経とうとしているのですね。

あの悲しい事故の直後から、夏音さんのもとには全国から励ましのメールや手紙等が送られるようになり、これまでに約450件が町を通じて届けられたそうです。

夏音さんは、自然災害とはいえ突然の父親との別れにも耐え、元気に暮らしている事は何よりです。

これは、彼女の生活の面倒を見ている親戚の方々のお力があっての事ですが、同時に、全国から寄せられた暖かい励ましの力も大きかった様に思います。夏音さん自身、その事を強く感じているものと思います。彼女が、間もなく事故から1年になるのを前に、全国から寄せられた多くの激励に対する感謝と、父への思いがつつられている自筆のメッセージを北海道新聞はじめ各紙に届けたのは、そうした思いの表れだと思います。

北海道新聞によると、夏音さんからのメッセージは便箋3枚で、学校での様子や、旭山動物園に出掛けて楽しかった事、今でも時々父親を思い出す事等と共に感謝の言葉が綴られています。

応援してくれた全国のみなさまへ

今わたしはとても元気です。毎日、30分位かかる雪道を、友達と二人で学校へ行き、勉強、スポーツと、毎日楽しく学校生活を送っています。学校では、友達とボードゲームをしたりします。

今育ててもらっているおじさん、おばさんに温泉や旭山動物園に連れて行ってもらいました。動物園では、ペンギンのお散歩を見ました。

昨年の3月、ふぶきでわたしはお父さんと2人、道にまよって気がいたら病院にいました。お父さんがふぶきの中、わたしを守って亡くなったと聞いて、とても悲しくなみだがポロポロ流れました。

3月22日に退院してから、たくさんの人達から、はげましのお手紙がたくさん

んとどき、おばさんに聞くと、わたしが一人ぼっちになってしまった事をかわいそうに思い、全国のみなさんが応援してくれているのではと言われ、とてもびっくりし、心からうれしく思いました。

とてもやさしかったお父さんの事も夜ベッドに入ると、ときどき思い出します。わたしを思っているいろいろと注意してくれたのに、わたしはあまえて、お父さんの言う事を何も聞かなかったので、お父さんの気持ちもわからないできた事を、「お父さん、ごめんなさい」と思い、なみだがでたりします。

これからは、おじさん、おばさんの言う事をよく聞き、たくさんの人達からの応援がある事をわすれず、お父さんが遠くから安心して見守ってくれるよう、人を想える大人になれるようがんばります。

全国のみなさま、わたしはもうだいじょうぶです。ほんとうにありがとうございました。 岡田夏音 【北海道新聞から転載しました】

このメッセージからは、身を寄せている親戚の方達からも温かく守られている事が伝わって来ます。

また、父親に反抗した事を悔いてベッドの中で密かに涙する姿に、私の涙腺も緩みます。別れた後で相手の気持ちに気付く、というのは夏音さんだけではありません。親子の間も一期一会ですよ。

「今のこの瞬間を大切にしなければ、今後に悔いを残す」この当たり前の事を忘れてはならないと、改めて思います。

夏音さんは現在、漫画に熱中しており、スケッチブックにコンピューターゲームの怪獣を描いたり、「ごんぎつね」に触発されて自分で考えた物語を書いたりしているそうです。また、同級生とスキーをしたり、学校の休み時間に友達とゲームをしたりするのも楽しみとの事です（2月20日付北海道新聞）、日々充実した生活を送っている事を知り、安心しています。

夏音さんは、「たくさんの人達からの応援がある事をわすれず、お父さんが遠くから安心して見守ってくれるよう、人を想える大人になれるよう」頑張ると述べています。1年前の事故の経験は、彼女を強くしただけではなく、多くの人達に見守られ、励まされている事への自覚が、彼女を大きく成長させているのだと感じます。夏音さんは、今後も様々な困難にぶつかる事でしょうが、きっと乗り終えて行くに違いないと思います。何故なら、彼女には、父親が命をかけて自分を守ってくれたという、何ものとも比較すべくもない強い体験を持っているからです。だからこそ彼女は、父親に安心して見守ってもらえる自分になろうとしているのであり、同時に、父親から命を掛けて愛されたという経験が大きな力となって、「わたしはもうだいじょうぶ」といわせたのではないかと思っています。（塾頭：吉田 洋一）